

第2回 下妻市地域公共交通活性化協議会 会議録

会議の名称	第2回 下妻市地域公共交通活性化協議会
開催日時	平成27年2月16日(月)午後1時30分～午後2時55分
開催場所	下妻市役所第二庁舎 3階 中会議室
出席者	委員：飛田貞雄、高橋節雄、飯塚 薫、稲葉富士夫、塙 正明、関口妙子、岡本直久、野上雅嗣、池田 久、高橋真一、江寺雅晴、荒川安男、黒須英夫、千葉博志、中村美千代、野中周一、黒澤正美 事務局：企画課長 渡辺 尚、企画課課長補佐 小林正幸 企画課主事 瀬尾 誠
欠席者	委員：渡邊欣一、鈴木和則、鯨井登美子、飯田孝志、川上敬一、澤畠政志、飯島 孝
会議の議題 および会議 資料の内容	1. 開 会 2. 会長あいさつ 3. 確認事項 （1）今後のスケジュール 4. 協議事項 （1）公共交通を取り巻く状況及び課題 （2）地域公共交通の方針（案） 5. その他 6. 閉 会
会議における 主な決定事項	確認事項（1）今後のスケジュール ・形成計画の策定期限を踏まえ、協議会のスケジュールについて事務局で再検討します。 協議事項（1）公共交通を取り巻く状況及び課題 ・本市における公共交通を取り巻く状況及び課題について、県内のコミュニティバスやデマンドバスの事業性等も含めデータを説明しました。 ・今後の検討における基礎データとして委員の共通理解を図ることができました。 協議事項（2）地域公共交通の方針（案） ・デマンドタクシーの検討にあたっては、ユーザーにとって使いやすく、利用に際し気を使わなくてよいシステムを構築できるよう配慮します。 ・形成計画の対象は下妻市民に限定することなく、来訪者や観光客も対象に含め、交流人口の増加、街の活性化を目指すこととします。 ・公共交通の主な対象として、高齢者や子どもに限定せず、全世代が使いやすい公共交通となるよう、ターゲットをあまり絞らず幅広く検討します。 ・当面は事務局提案の5つの方針に沿って今後の議論を進めていくことについて委員一同の承諾を得ました。

議事の経過 及び発言の 要旨	別紙のとおり
----------------------	--------

別紙 会議録

事務局 渡辺	<p>本日は、大変お忙しい中お集まりいただきありがとうございます。 定刻になりましたので、ただいまから、下妻市地域公共交通活性化協議会を開会させていただきます。 会議進行上、申し訳ございませんが、携帯電話は、電源を切るかマナーモード設定をしていただきたいと思います。 会議に先立ちまして、野中会長よりご挨拶を申し上げます。</p>
野中会長	<p>会長の野中でございます。 本日は公私ともに大変お忙しいところ第2回の協議会にご出席いただきまして誠にありがとうございます。 国では、昨年末に地方創生といたしまして、「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」と「総合戦略」を打ち出したわけでございますが、その中でも地方の活性化策として、都市のコンパクト化や公共交通網の再構築などを推進しております。 その意味からいたしますと、当協議会も、下妻市の将来を考えていくうえで、重要な役割を担っているのかと思われまます。 前は設立総会ということで、協議会規約や予算についてご審議いただいたわけですが、今回からは、公共交通の導入を検討するにあたっての本格的な議論を開始することになります。 本日は協議事項といたしまして、3点御用意しておりますので、委員のみなさまの忌憚のない積極的な御意見をいただけますようお願い申し上げます。</p>
事務局 渡辺	<p>ありがとうございました。 会議に入る前に、委員の交代がありましたのでご報告いたします。お手元の委員名簿をご覧ください。 委員3番につきまして、市議会議長に就任されたことに伴い、飯塚 薫様が新しく委員となりましたので、ご報告いたします。 また、本日は本年度の計画策定の事前調査業務を委託しております公共交通関係コンサルタントの(株)アルメック VPI から、内山さんと大野さんが出席しておりますのでご紹介いたします。</p>
事務局 渡辺	<p>(株)アルメック VPI 内山、大野を紹介)</p> <p>まず初めに、本日の会議資料を確認させていただきます。 本日、机の上には会議次第の他に、委員名簿、会議の配席図、前回の議事録と、資料といたしまして、資料1、資料2、資料3をお配りさせていただきました。資料に不足がございましたら、お申し付け下さい。 それでは、それでは、会議に移らせていただきます。 規約第6条で、副会長が会議の議長を務めることとなっておりますので、岡</p>

議長（副会長）	<p>本副会長に議長をお願いしたいと存じます。よろしくお願いたします。</p> <p>規約に従いまして、議長を務めさせていただきます。委員の皆様のご協力をお願いいたします。</p> <p>これより議事に入りますが、本日、出席委員17名でございます。本協議会規約第6条第2項により出席委員数が過半数に達しているので会議が成立していることを報告します。</p> <p>それでは、次第の議題に基づきまして、議事を進めさせていただきます。</p> <p>はじめに3の確認事項、(1)「今後のスケジュールについて」、事務局より説明願います。</p>
事務局 瀬尾	<p>確認事項(1)今後のスケジュール について説明</p> <p style="text-align: center;">(質疑応答)</p>
野上委員	<p>形成計画はどの時期から委員に提示される予定でしょうか。</p>
事務局	<p>平成27年度の第3回協議会で提示する予定で考えています。</p>
議長（副会長）	<p>もう少し早い時期でなくたいしょうぶでしょうか。平成27年度は第4回までとなっているが、場合によっては第5回があるかもしれません。</p>
(副会長)	<p>年度内に形成計画がまとまればよいのか、それとももう少し早めに計画を作り、市民に公表するのでしょうか。</p>
事務局	<p>本件については事務局で検討します。</p>
議長（副会長）	<p>一般的には、今後のスケジュールは会議の最後にありますが、今日は、下妻市公共交通活性化協議会の具体的議論のスタートとなる回のため、委員の皆様の共通認識とするためにも会の冒頭にしています。</p> <p>続きまして、4の協議事項に移ります。「(1)公共交通を取り巻く状況及び課題について」を議題といたします。</p> <p>それでは、調査を委託しましたアルメックより説明願います。</p>
アルメック内山	<p>協議事項(1)公共交通を取り巻く状況及び課題 について説明</p> <p style="text-align: center;">(質疑応答)</p>
黒澤委員	<p>本年度はアンケートを行っていないが、p.11のアンケート結果はどこで調査した</p>

	<p>ものでしょうか。</p>
事務局	<p>昨年度実施したアンケート結果をクロス集計したものです。</p>
議長（副会長）	<p>p.13 の目的施設にイオンは含まれていますか。</p>
ｱﾙﾒｯｸ内山	<p>商業施設の回答に含まれています。なお、このデータでは市役所が圧倒的に多く、商業施設は6番目に位置しているが、年間で行く回数なども考慮して考える必要があります。</p>
飛田委員	<p>70歳代以上がなぜこれほど市役所への移動ニーズがあるのかが疑問です。</p>
議長（副会長）	<p>アンケートの設問の具体的な聞き方はどうだったのでしょうか。</p>
ｱﾙﾒｯｸ内山	<p>もし公共交通ができた場合の移動希望先を複数回答で聞いたものです。</p>
埴委員	<p>タクシーは乗り合い禁止のはずだが、デマンドタクシーの位置づけはどのようになっていますか。</p>
ｱﾙﾒｯｸ内山	<p>（資料3の3ページ、地域公共交通の種類を用いてデマンドタクシーの位置づけを説明）</p>
議長（副会長）	<p>デマンド型にはいろいろなやり方があります。たとえば、土浦市はいくつかのブロックに分け、つくば市では複数箇所（700箇所）に基地を設けて運営しています。</p> <p>コミュニティバスの運賃収入が3割を超えている自治体はごくわずかです。土浦市や牛久市は採算が見込める路線を走っているが、これは事業性が見込めた後に民間に移譲する試験的な要素を含んでいます。</p> <p>資料の4ページに示されている各種拠点をどのように繋ぐかも重要です。また、本市には鉄道が一つの交通軸となっており、そこにどうアクセスするかも重要といえます。</p>
荒川委員	<p>資料24ページの表にある「その他」は何を意味するのか。</p>
ｱﾙﾒｯｸ内山	<p>詳細は不明ですが、商工会議所や観光協会など、市以外から経由した補助が相当していると思われます。自治体負担とその他を加えたものが本来の自治体負担に近いかもしれません。</p>
議長（副会長）	<p>協議事項（2）地域公共交通の方針（案）について事務局から説明をお願いします。</p>

事務局 小林	協議事項(2) 地域公共交通の方針(案) について説明 (質疑応答)
黒澤委員	低炭素社会を目指すためにも、資料の1ページの図で、一般市民の欄にも公共交通の利用を位置づけたほうがよいと思います。
議長(副会長)	通勤・通学、買い物、通院のほか、休日のレジャー(憩いの場)もあってもよいのかもしれませんが。駅へのアクセスについても検討されてはどうでしょうか。
埴委員	デマンドタクシーを利用できる時間はどうなっていますか。
議長(副会長)	デマンドタクシーの利用については時間的な制限があります。
事務局	たとえば土浦市のデマンドタクシーは高齢者(65歳以上)に限定されています。
議長(副会長)	デマンドタクシーはユーザーにとって使いやすく、利用に際し気を使わなくてよいシステムを構築できるかどうか課題といえます。
野上委員	公共交通の方針をみると、対象は下妻市民に限定されているように見受けられますが、来街者や観光客も対象に含めないのでしょうか。
事務局	交流人口を増やす意味でも、ご指摘を踏まえ訂正します。
荒川委員	方針 はとても重要と思います。バスの乗り方教室など、子どもたちが実際にバスを使う機会を創出する取り組みなど、市で作ったバスを皆で支えていく仕組みが重要です。それがないと計画を作っただけで終わってしまう危険性があります。
議長(副会長)	公共交通が出来上がった後にどう周知するかはとても重要です。専門用語でモビリティ・マネジメント(MM)といいますが、市民や利用者に知ってもらうことが重要です。
関口委員	東京で飲んで帰る時、駅にタクシーがなく不便を感じる場合があります。ふだん自動車を利用している人でも使いやすいバスや、広域からアクセスできる人にとっても使いやすいバスを考えることが重要かと思います。 高齢者や子どもを対象とするのもよいですが、対象を限定せず、全世代が使いやすい公共交通とする方が採算性、持続性の面でもよいのではないのでしょうか。
埴委員	市が何かしらの財政負担するという意味では、納税者にとって利便性の高い公共

	交通を考えるのがよいと思います。
議長（副会長）	たとえば牛久市のかっぱ号のように、シンボルデザインも重要です。また、市民や利用者のニーズを把握し、需要にあったシステムを構築することも必要です。
荒川委員	既存路線とのコラボレートも重要だと思います。
事務局	バス利用促進のために、駅前のピアガーデンでバスマップを配布し、飲んだ帰りにバスを利用してもらうよう頑張っている事例もあります。今後調査を進める上ではターゲットはあまり絞らず幅広く検討していきたいと思います。
議長（副会長）	資料1に、「地域公共交通の方針は、各項目の検討にあわせて修正・拡充していく」と記載があります。当面は事務局提案の5つの方針に沿って今後の議論を進めていくことでよろしいでしょうか。
	（委員一同、異論なし）
議長（副会長）	本日予定された議事につきましては、すべて終了いたしました。ご協力ありがとうございました。
	続きまして、5. その他ですが、事務局から何かありますか？
事務局	2点ほどご連絡いたします。 1点目は、次回の会議の予定ですが、先ほどもご案内いたしました。3月24日（火）午前10時より開催いたします。会議室は同じフロアの大会議室となります。通知については、後日郵送いたします。 2点目は、委員報酬についてでございます。 今年度分の報酬につきまして、次回の会議終了後、出席回数に応じ、お支払いを予定しております。なお、報酬規定にあるとおり、国、県、市、その他申し出のあった委員については、これを支給しないものとなっておりますので、ご了承ください。 報酬のお支払いにつきましては、口座振込みを予定しておりますので、次回通知と一緒に振込口座届出書を同封いたしますのでご記入の上、次回会議の際提出をお願いいたします。以上、よろしくお願いいたします。
議長（副会長）	ありがとうございました。 委員のみなさまからその他ご意見・ご連絡等ございませんか。
議長（副会長）	他に無いようですので、以上をもちまして、議事を終了させていただきます。長時間にわたるご審議、誠にありがとうございました。

事務局 渡辺	<p>それでは、これもちまして、第2回 下妻市地域公共交通活性化協議会を閉会いたします。長時間にわたり、ご協力ありがとうございました。</p> <p>午後2時55分散会</p>
--------	--